

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いちごハウス			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 30日		～	2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2024年 8月 30日		～	2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お出かけやお買い物等を通して、社会でのルールを学ぶ機会を設けている。	個々の支援計画に沿った個別の課題に取り組んでいる。	今後も個別と集団の療育をバランス良く行っていく。
2	集団遊びに力を入れており、年齢に関係なく楽しく活動できる。	子供たちが飽きないような集団療育を心掛けている。	みんなで遊べるゲームを実施するためにルール作りを子供たちと相談して行う。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまりできていない。	地域の行事にできるだけ参加しているが、定期的に密接に関わることは少ない。	今後も積極的に地域の行事に参加していきたい。
2	保護者会の開催が少ない。	日程調整の難しさ。	今は年に一度の開催だが、半年に一度くらい開催できるよう努力したい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	いちごハウス
------	--------

公表日 2024年10月30日

利用児童数 2024年9月2日

回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				いつもありがとうございます。製作も毎日	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いちごハウス					公表日			2024年 10月 30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		個別・集団療育は別室にてスペース確保している。							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		法令で必要とされる人員を配置している。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		広々とした空間で活動しており、バリアフリー化している。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日療育終了後清掃を行い、清潔を保っている。							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別療育は別室にて使用している。							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		毎月職員会議にて振り返りを行っている。							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		内容は職員と共有している。							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議だけでなく、いつでも話せるような機会を提供している。							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		第三者委員をつけられるよう努力する。						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		外部研修に参加し、内部でも研修を開催している。							
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		職員と企画中であり、出来次第公表予定である。						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		半年に一度面談を行い作成している。							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員との話し合う場を設けている。							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎日業務に入る前に確認し、支援している。							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		日々の活動内容を記録し、確認している。							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		お出掛けや買い物学習を通して地域と連携できるよう支援している。							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎月活動内容を作成し、保護者に配布している。							
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		子供が飽きず楽しめるように考えている。							

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		子供に合わせた活動内容を考案し作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	その日の子供の支援内容や注意事項を確認し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の活動内容を記録しその場で話し合い共有している。パートの支援者には、支援前に記録票を確認してもらっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		問題点がある時は、相談員さんにも連絡を取り、改善につながるよう話し合いの場を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年に一度面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			ケース会議に参加し連携できるようにしているが、相談員がいない子供に関しては難しい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		事業所との契約後に保育所や園にご挨拶兼ねて訪問し情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	学校へ訪問し情報提供している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4			現在支援センターを利用されている子供はいない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	お出掛けや買い物学習を通して地域と連携できるよう支援している。	保育所や園との交流はかなり難しい状況である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎の際に、気になる事などお伝えし、連絡帳にて共通理解を図っている。相談事や緊急の際にはすぐに電話連絡している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	自事業所にてあいふあいの研修を実施している。	
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に必ず説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		見学や契約時に相談できる機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		面談の際に説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		特に保護者からの電話相談があり、その都度対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	年1回保護者同士交流できるよう設けている。子供の活動内容を収録した動画を視聴してもらっている。	年2回程度、保護者会を実施できるよう努める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談事には迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		月に1度写真添付の保護者便り・行事予定を配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付き倉庫に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		インスタグラムやお便りで、情報提供している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		人見知りや場面緘黙などの子供達がいる中で、地域住民を招待する事は、かなり難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアルは契約時に配布している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		防災センターへ行く等、年3回程度で訓練の実施を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		てんかん発作に関しては病院の意見書を提出してもらい、利用時にはバイタルチェックを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			現在アレルギーをもつ子供はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		規定のマニュアル等を作成している。訓練や研修は最低年2回行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明を行いマニュアルを配布している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットがあった時はその日の内に書類を提出し、確認し合って検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		月に1度の職員会議の時に行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			現在身体拘束を行う子供は利用していない。